

ディスクの取り扱い/お手入れのしかた

CD (コンパクトディスク)



のマークが付いているものをご使用ください。

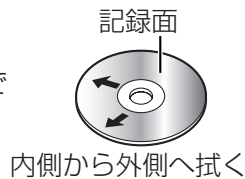
持ちかた

記録面に手を触れないように持ってください。



CDが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭いてください。



取り扱いのお願い

- 回転する方向に拭かないでください。
- ベンジン、シンナー、レコードクリーナー、静電防止剤を使用しないでください。
- 記録面に手を触れないでください。

CD-R/RWディスクのご使用について

CD-DA以外のデータ(ビデオCD、MP3、WMAなど)は、再生できません。

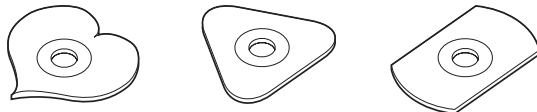
- CDレコーダー (CD-R/RWドライブ) で記録したCD-R/RWディスクは、その特性・汚れ・指紋・キズなどにより、再生できない場合があります。
- CD-R/RWディスクは通常の音楽CDに比べ高温多湿環境に弱いので、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの使用上の注意書きをよくお読みください。
- クローズセッションされていないCD-R/RWディスクは再生できません。

コピーコントロールCDについて

パソコンなどによるコピー防止を目的にコピーコントロールが施された音楽CDが発売されています。これは、現状のCD規格に合致しないディスクであり、本機での再生は保証いたしかねます。通常のCDを用いた再生には支障がなく、コピーコントロールCDを用いた再生にのみ支障がある場合は、コピーコントロールCDの発売元にお問い合わせください。

下記のようなディスクは使用しないでください。本機の内部で引っ掛かるなどして、ディスクの破損および本機の故障の原因になります。

■ 円形以外の特殊な形状のディスク



ハート形 三角形 カード型

■ ラベルなどを貼り付けたディスク



シールやテープ、のりが付着している プリンターで作成したラベル



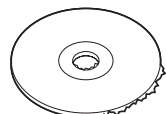
プロテクトフィルム、保護シート ディスクアクセサリ (スタビライザーなど)

■ 破損・変形したディスク



そっている ひびやキズがある 欠けている

■ 粗雑なディスク



バリがある

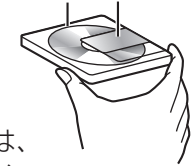
MD (ミニディスク)

- 録音済みの音楽用MDをご使用ください。
- Hi-MDには非対応のため、再生できません。

カートリッジ シャッター

MDが汚れたら

カートリッジの表面に汚れやごみがついたときは、乾いた布で拭いてください。



シャッターに手・指を触れないでください。再生中に、高温になることがあります。

取り扱いのお願い

MDそのものの破損、および機器の故障の原因になることがありますので、次のことをご守りください。

- シャッターを開けない。無理に開けると破損することがあります。中の円盤には、直接手を触れないでください。
- 指定外の場所にラベルを貼らないでください。
- ラベルのはがれかかったMDは使用しない。本機の中で引っ掛かるなど、故障の原因になります。
- CD挿入口に、MDを入れない。
- MDの方向と表裏を確認して挿入する。無理に入れると、故障の原因になります。

ディスク (CD、MD) の保管について

長時間使用しないときは

- 必ず本機から取り出してください。
- ゴミ・ほこりなどの汚れやキズ・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

次のような場所に置かないでください

- 長時間直射日光のあたるところ (車のシート、ダッシュボードの上など)
- 暖房器具の熱が直接あたるところ
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 腐食性のあるところ
- 強い静電気・電氣的ノイズの発生しやすいところ

著作権について

音楽などの著作物を個人的に楽しむ場合などを除き、著作権者の許諾を得ないでディスクに複製(録音)、配布、配信することは、著作権法で禁止されています。十分ご注意ください。

パネルのお手入れについて

パネルが汚れたときは

- 電源を切ってから、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ベンジンやシンナー類を使うとケースや塗装が変質しますので、使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用になる場合は、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。



使用しない